

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2015年10月号



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



「分かち合う平和」

大江 浩（日本YMCA同盟）

国連は、先日発表した“持続可能な開発のための2030アジェンダ”（2016-2030）で、「全世界で極度の貧困の中で暮らす人々の数は、1990年の19億人から半分以下に減少しました。しかし、今でも8億3,600万人が極度の貧困に苦しんでいます。開発途上地域では、およそ5人に1人が一日1ドル25セント未満で生活しています。」と報告しています。

4秒に1人の子ども達が5歳の誕生日を迎えられず、1分に1人の女性が出産時に命を落とす現実があります。貧困を克服できず、争いに満ちている世界の犠牲は子ども達であり女性です。貧困の問題は海外ばかりではなく、日本の相対的貧困率は先進国の中でも高く、私達の身近なところでその深刻さが増えています。

私が、横浜YMCA時代に出会った、北タイの人身取引のリスクから保護された子ども達やエイズ孤児。インド洋大津波スマトラ沖地震の被災地スリランカのTSUNAMI孤児。「戦争しか知らない」アフガン難民の子ども達。また日本キリスト教海外医療居力回（JOCS）時代に出会った、途上国の医療過疎地で困窮生活を生きる女性や子ども、障がい児・者や少数民族の人達。私は、国

際協力の現場で多くの、“かき消されたSOS”に出会い、問われました。「あなたの隣人とは誰か？どのように生きようとするのか？」と。

国際協力の現場で出会ったことのもう一つは、“貧しさの中にある豊かさ”です。富裕層が貧困層へ施しをするような援助ではなく、わずかに持つ人がより持たない人へ差し伸べる手、支え合い分かち合う豊かさです。これは、被災地でも体験した光景です。奪い合いから戦争が生まれ、分かち合いから共に生きる平和が生まれていきます。私達は、決して「無力」ではありません。「微力」ではあっても、ささやかな力ではあっても、合わせれば「何かを変える」ことが出来ます。YMCAは、“Think Globally. Act Locally. (世界を見つめ、地域に生きる)” 団体であり、その目指すところは、“平和”を創り出すことです。

担い手は私達一人ひとり、100人いれば100通りの平和へのアクションがあります。知ること・自分のできることを発見すること・募金すること・繋がること・祈ること。平和への小さな、大切な一歩。それは、あなたから始まります。

9/22 仙台YMCAチャリティラン!

すっかり涼しくなり、葉も鮮やかに色づいてきた今日この頃。しかし、盛岡YMCAは、秋の間も熱く、盛りだくさんな日々を過ごしています。9月は、仙台YMCA主催のチャリティランに初参加! 大変盛り上がったこの大会に、盛岡YMCAからは3チームが出場。盛岡YMCAチームはそれぞれ、3位・6位・23位の成績を収めました。

今回参加しました「第21回仙台YMCAインターナショナル・チャリティーラン2015」は障がいのある子どもたちを応援するイベントとして開催されました。障がいのある人もない人も共に走り、支えあうことで障がいのある子どもたちが幸せに生きていくための理解と共感の浸透を広げることをミッションとし、全国のYMCAで開催されています。盛岡YMCAからは駅伝の部に3チーム(1チーム6名)と、盛岡ワイズメンズクラブの応援団方たちの全24名で参加してきました。ひとつのタスキを仲間とつなぐことにより、絆をより深めることが出来ました。また、午後のキャップハンディ体験(ハンディキャップ(障がい)のあ

る人の状況を疑似体験すること)やラッフル抽選会(趣旨に賛同して頂いた企業・団体・個人の方から無償でご提供いただいた景品の抽選を楽しむもの)にも参加させていただき、より大会趣旨の理解を深め、感じ取ることができました。盛岡YMCAでは現在チャリティーランを開催しておりませんが、今後社会や地域の力になれるようなチャリティーランを計画していければと思います。

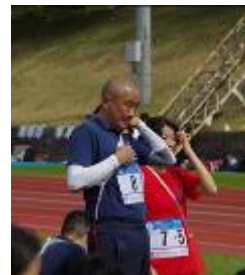
盛岡YMCA ウェルネス担当
伊藤眞太郎



走る前、やや緊張気味?の面持のゴリナーダーとつづ貝りーダー。←



以前盛岡YMCAスタッフとして活躍していた神田橋さん(現横浜YMCAスタッフ)が、チャリティランのために駆けつけてくれました!←



宮古ボランテニアセンタ―前所長の斎藤さんにも再会!仙台チームに参加されていました。←



→ 獅童りーダーは、家族そろっての参加です!



→ 大学生のリーダーたち、笑顔で駆け抜けていました!

→ スポンサーになってくださった、もりおかワイズメンズクラブの皆さんと!



☆ぷらいむ・たいむ前潟校 お泊まり会☆

9月5日~6日にかけて、ぷらいむ・たいむ前潟校では、お泊まり会を行いました。今年は、子ども30名が参加し、みんなで楽しい時間を過ごしました。

自分たちで夕ご飯を作り、そのあとは近くの公園で花火大会、そして大騒ぎのお風呂タイムへ突入!1日目から大いに盛り上がりました。2日目も、6時には子どもたちが起き始め、朝から彼らはハイテンション。朝ごはんを食べ自由に遊んだあとは、前潟校ならではの、グループに分かれてのサンドイッチ作り。グループごとにサンドイッチをどうやって作るか、中身は何にするかを話し合い、近くのショッピングセンターへ買い物に行きます。勿論各グループの予算は決められているので、縦割り班の高学年を中心に、「あ〜でもない」「こうしよう!」「これいいんじゃない!」などやり取りを経て、いざサンドイッチ作り。その後は、お迎えが来るまでみんなでフリータイムです。

自分たちが一緒に生活をしている学童のメンバーと、ご飯を作り食べ、お風呂に入り寝る。といった普段一緒にいる仲間と過ごす、特別な時間は子どもたち同士のつながりと、絆を深めるきっかけになってくれればと、昨年度からお泊まり会を行っています。

たくさん笑って、たくさん楽しんで、みんなでドタバタしながらもあつという間の1泊2日。これからも、子どもたち1人1人に寄り添いながら、共に楽しみ、共に歩みを進めていけるよう、僕らスタッフも頑張っていきたいと思います。

ぷらいむ・たいむ前潟校
浅沼慧



公園にて、いつもよりたくさん遊べて大満足!←



サンドイッチの材料を調達!おいしく作れたかな?←



楽しい花火大会!きれいな花火に、みんな大はしゃぎでした。←

YMCA国際協力募金について

YMCAは、それぞれの国・地域の市民によって自主的に組織・運営されており、世界約130の国と地域で活動しています。

YMCAにおける国際協力は、これら各YMCA間の相互協力の形をとることを基本とし、他団体とも共同しながら行われます。沢山の方から集められた募金は、ベトナム支援、タイ農村ワークキャンププロジェクト支援、災害被災地への支援（スマトラ沖地震、津波災害支援、インドネシア・ジャワ島地震被災地支援、フィリピン台風21号被災地支援等）に充てさせていただいてきました。

盛岡YMCAでは、2001年度より上記の支援のため、国

際協力募金、チャリティーコンサート、フリーマーケット、チャリティーフットサルなどの活動を行ってきました。

今年度は9月13日（日）に、盛岡YMCA向中野センターにてバザーを行いました。益金は日本YMCA同盟を通してネパールYMCA（ネパール地震被災地支援）への支援に充てていただきました。

11月23日（月・祝）には毎年行っております国際協力募金を今年度も行います。場所はクロステラス盛岡前、川徳前、北日本銀行大通視点前にて11時から15時で行います。皆様の様々な形でのご協力をよろしくお願い致します。



フィリピン台風被害の際には、セブYMCA・イロイロYMCAを通じて支援を行いました。こちらは、セブYMCAにて温かい食事の提供を受ける子どもたちです。



ワークキャンプとして日本からフィリピンへ若者たちが向かい、後者の修復作業を行いました。盛岡YMCAからもまずおリーダーが参加しました。



地震で大きな被害を受けたネパールでは、小学校の再建・奨学金の支援など、支援を継続しています。

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 9月報告書

①9月アドベンチャー「閉伊川と遊ぼう」開催！

9月のアドベンチャーでは、閉伊川でたっぷり遊び、たっぷり学びました。活動について、盛岡YMCAインターン生のあさりリーダーこと、安久津理沙さん（盛岡大学4年）がレポートを書いてくれました。以下、は、安久津さんのレポートです。

9月宮古アドベンチャーは、「閉伊川と遊ぼう」ということで、子ども13名、学生リーダー6名、閉伊川高等学校の皆さんと一緒に活動してきました。私自身宮古の活動に参加するのは約1年ぶりでしたが、子どもたちを駆で迎えるとき、私のことを覚えていてくれる子どもがいてとても嬉しかったです。

1日を通して、閉伊川高等学校の皆さんが川に住む生き物のことや、鉛を使って川の石ころの誕生の仕組みなどを教えてくれました。閉伊川に住む魚の紹介では、ヤマメ・サクラマス・鮎の模型を見せて頂いたり、また、実物の鮎を触ったりにおいをかいだりして魚の特徴を学びました。模型や実物の魚にみんな興味津々で、各々が感じた感想がとても面白かったです。その後、実際に鮎を焼き、焼いている間に閉伊川で遊びました。子どもたちと一緒にひざまで入ってオタマジャクシを捕まえた子魚や虫探しをしました。ゲンゴロウやハリガネムシなどを見つけた子、リーダーと一緒に泥遊びをする子など、それぞれ川遊びを楽しみました。最後にはヤマメの稚魚の放流体験もしました。お昼ごはんの時には自分で焼いた鮎やヤマメを食べました。いつもとはまた違った美味しさを感じながら、お腹いっぱい食べました。

1日を通して、貴重な体験を子どもたちと一緒にすることができました。また、この体験から川と人間の生活の関係や食育について、子どもたちに何か伝わるものがあれば良いと考えます。子どもたち同士で仲良くなる瞬間が見れたり、私自身子どもたちとたくさん関わってとても楽しかったです。



↑ 鮎のにおいをかいでみました。ある子どもは、スイカのにおいがすると言っていました。



↑ 子どもたちとあさりリーダーで、一緒にピース！魚や虫と触れ合う、楽しいアドベンチャーになりました。

②宮古サッカースクール、活動中！



夏休み期間が終了し、Ⅱ期のサッカースクールも楽しく活動しています。少し本格的なドリブルやターンの練習も取り入れ、子どもたちはどんどん上達してきています。

11月3日には、盛岡YMCAのサッカースクールに通う子どもたちが出場する大会「チャンピオンズカップ」が開催されます。もちろん、宮古サッカースクールの子どもたちも出場します。盛岡の子どもたちとのサッカーでの交流、とても楽しみです！

③10月アドベンチャーに向けて



10月4日に、アドベンチャー「ボクらの海をつくろう」が開催されます。今回の活動は、盛岡第一高等学校の美術部の皆さん、そして宮古高等学校の美術部の皆さんによる企画です。発泡スチロールや木材、そして様々な画材を用い、自分たちだけの「海」を作り上げるという内容になります。

宮古高校にて、活動に向けてのミーティングを行いました。よりよい活動を作り上げるべく、高校生のみなさんが熱心に意見を出し合う姿が大変印象的でした。

④宮古教会、新会堂へ！

宮古ボランティアセンター開設時より大変お世話になっている宮古教会が、新会堂へと移ることになりました。9月27日に、旧会堂での最後の礼拝に参加してきました。震災から4年半、延べ10000人を超えるボランティアの方々がこの会堂のお世話になりました。



晴天の中、礼拝を前に、やや緊張気味の森先生。



こちらが新しい宮古教会。次回の礼拝はここで行われます。

10月の予定

- ★10月3日(土)
宮古を愛する青少年の育成事業
「いのちについて考えよう」
(於：宮古商業高校)
- ★10月4日(日)
宮古を愛する青少年の育成事業
「ボクらの海をつくろう」
(於：宮古市中央公民館・分館2F)
- ★10月11日(日)
サンデースクール
「パンづくり」
(於：仙北地区活動センター)
- ★10月17日(土)
森のようちえん
「秋をさがそう♪たんけんキッズ☆」
(於：滝沢森林公園)
- ★10月25日(日)
アドベンチャークラブ
「焼き芋！芋煮！秋を感じよう♪」
(於：つどいの森)

☆バザー報告☆

盛岡YMCA向中野センターでは、9月13日(日)にバザーを開催いたしました。当日ご来場下さった方々、当日バザーで出品する物を提供して下さいました方々、当日お手伝いして下さいました方々、皆様の支えのお陰で予定通り行うことができ多くの方にお集まりいただけました。当日の収支、益金は以下の通りです。

当日収入：48,096円
支出：37,248円
益金：10,848円

今回の益金は、当初の予定通り日本YMCA同盟を通して、ネパールYMCA(ネパール地震被災地支援)への支援に充てさせていただきました。多くの方々のご理解とご協力、まことに有難うございました。



当日の様子。子どもたちも協力してくれました！←

表紙の写真から



9月23日(祝) 仙台YMCAチャリティランに参加してきました。盛岡からはリーダー、スタッフを中心に3チームが参加。来年は、盛岡でも開催したいな。

君でいいんだよ ~JUST THE WAY "YOU" ARE 16~

「時の流れ」

区界高原に行った時、案内して下さいました武内さんから2つの興味深い話を教えていただいた。



一つは、ウマノアシガタという植物の話。山道を切り切った日当たりのよい草原に咲いていた。本来は、三方向に分かれた葉っぱが鳥の足の形をしていることから「トリノアシガタ」と呼ばれていたらしい。それが、「鳥」と「馬」の字を昔の誰かが写し間違えて記したらしく、今の名前と呼ばれるようになった。

もう一つは、ミズナラの木。ドングリを実らせる木だ。区界高原には、大木が自生している。



鳥やノネズミはこの実が大好きだ。食べきれないドングリを枯れ

木の洞(ウロ)などに隠しておく習性があるのだが、どうやらそのまま忘れてしまうらしい。ウロにたまった腐葉土などを栄養に、残されたドングリは、発芽、生育していくそうだ。

今の人間の生活の中では、ミスは許されない。忘れないよう、ミスをしないように、私たちは育ってきた。そしていつの間にか失敗を極端に恐れる生き方を強いられるように思える。しかし、文化や自然に目を向けると、長い時間の流れの中で、少々ミスは取り込まれていき、それが逆に役に立っている場合さえあるのだと思う。時の流れは、「忘れていいんだよ」「ミスしていいんだよ」「それをバネに新しい価値を生み出してごらん。」と語っているのかも知れない。

「主は右にいまし私は揺らぐことはありません。」詩篇16編8節

盛岡YMCA総主事 濱塚有史

リーダー紹介コーナー！

みなさんこんにちは！だんだんと肌寒くなってきましたね。そんな10月のYMCAニュースでは、私がリーダー紹介をします！まず、私の自己紹介からします。名前は伊藤穂南(いとうほなみ)、リーダー名はジョアといいます。

今回は、私と同じ岩手県立大学に通う1年の菊池望(きくちのぞみ)こと、さそりリーダーの紹介をします。月1回のアドベンチャー・森のようちえん・サッカーや水泳などに参加しています！そんなさそりリーダーは、キュートな笑顔の持ち主ですが、その笑顔の裏に自分で決めたことは曲げないという芯の強い一面を持っています！私もさそりリーダーの意志の強さには毎回驚かされ、感心するばかりです。リーダー名から少しトゲトゲしいイメージを持つ方もいると思いますが、子供たちと触れ合うことが大好きで、常にどんな事をするに子供たちのためになるのかを考えている優しさを持っています。少し言葉にトゲがある時もありますが、無茶ぶりも笑いながらやってくれるのがさそりリーダーです！



今回、リーダー紹介を書いてくれたジョアリーダー！



リーダーでは珍しい、色気を持ち合わせたさそりリーダー！

- 感謝 (2015年度9月31日現在) 五十音順・敬称略
- 維持会費
 - 有我啓作、飯島隆輔、家村知佳、池田二郎、一戸貴文、伊藤克良、伊藤真一郎、伊藤真太郎、伊藤愛美、伊藤みどり、井上浩太郎、井上修三、井上優子、今松桂子、鶴丹谷三三、魚住英昭、越前谷洋子、遠藤昌樹、大関靖一、岡田亮治、押切祥、小畑孝子、重石桂司、角谷晋次、(株)興和電設、川守田浩、神田福慈、川坂保宏、北山ユ子、木田泰之、菊池弘生、熊谷圭祐、熊谷太、桑原良幸、高彰彰、小林茂元、小山憲彦、今野健男、斎藤恒夫、佐藤翔、清水弘一、杉田弘美、高瀬裕彦、滝川佐波子、武内祐輔、田村治之、千葉洋子、中原真澄、長岡和義、長岡正彦、中村淳希、林辰也、原寛、人見晃弘、廣川厚子、廣川健太郎、廣川はるな、藤野陽平、早坂澤伸、増田隆、松本和也、水谷史朗、光永尚生、村上健太郎、村上亨、森山日菜乃、森山幹大、宮崎幸雄、盛岡チャペル、山口貴伸、山崎詩織、吉井啓亮
 - 寄附金
 - 飯島隆輔、池田二郎、伊藤克良、伊藤真一郎、今松桂子、鶴丹谷三三、遠藤昌樹、角谷晋次、神田福慈、熊谷圭祐、小山憲彦、佐藤翔、清水弘一、杉田弘美、高瀬裕彦、中原真澄、花田隆、早坂春希、原寛、人見晃弘、増田隆、山崎詩織
 - 東日本大震災被災地支援募金 献品
 - 飯島隆輔、岩国みなみワイズメンズクラブ、宇都宮ワイズメンズクラブ、宇都宮東ワイズメンズクラブ、大阪YMCAインナーナショナルスクール、マフィア、沖繩那覇ワイズメンズクラブ、鹿児島YMCA、鹿児島ワイズメンズクラブ、鎌倉ワイズメンズクラブ、京都ウイングクラブ、京都エイブルクラブ、京都キャピタルクラブ、京都東横ワイズメンズクラブ、京都トッポワイズメンズクラブ、名古屋パシフィックワイズメンズクラブ、清水弘一、東海クラブ、東海ワイズメンズクラブ、名古屋グランドパスワイズメンズクラブ、名古屋ラザークラブ、名古屋ワイズメンズクラブ、日本基督教団内丸教会、広島ワイズメンズクラブ、廣瀬一雄、南山ワイズメンズクラブ、横浜ワイズメンズクラブ、四日市ワイズメンズクラブ、ワイズメンズクラブ国際協会 日本区、ワイズメンズクラブ西日本区、ワイズメンズクラブ東日本区、和歌山紀の川クラブ
 - 国際協力募金(ネパール地震被災地支援)
 - 伊藤克良、伊藤真一郎、鶴丹谷三三、遠藤昌樹、大関靖一、重石桂司、川守田浩、神田福慈、鬼柳志彦、熊谷圭祐、菅原彦司、杉田弘美、高橋亜也子、滝川佐波子、中村恵美子、名古屋原信、日本基督教団内丸教会、濱塚有史、早坂春希、フジクリン岩手(株)、増田隆、女鹿力々花、盛岡チャペル、山崎祥子、(有)熊安旅館